

Status Card 設定ドキュメント

このコンポーネントについて

- 本コンポーネントはセールスフォースが正式にリリースしているものではなく、Salesforceの開発による機能拡張のイメージを提供するものです。
また、製品として提供しているものではありませんので、セールスフォースでのお問い合わせ等の受付は出来ません。
- 本ドキュメントに記載されているパッケージはノンサポートであり、Salesforceのアップデート対応や動作の保証などはありません。
- 上記を理解の上、本コンポーネントを活用頂きますようお願い致します。

コンポーネントの特徴

- ユーザがすぐに自分に対応しなければならない情報を取得して気づきを得られる
- オブジェクトのレコード数を条件に、パネルの色の変化で気づきを得られる
- ユーザー個別で設定が行えるので、パーソナライズ化されたレコードの状態管理が行える

ダッシュボードとの差別化要素

- 配置スペースの削減
- 目に止まりやすい

パッケージ情報

管理パッケージ

<https://appexchange.salesforce.com/appxListingDetail?listingId=a0N3u000000001K1EAL>

未管理パッケージ

Github準備中

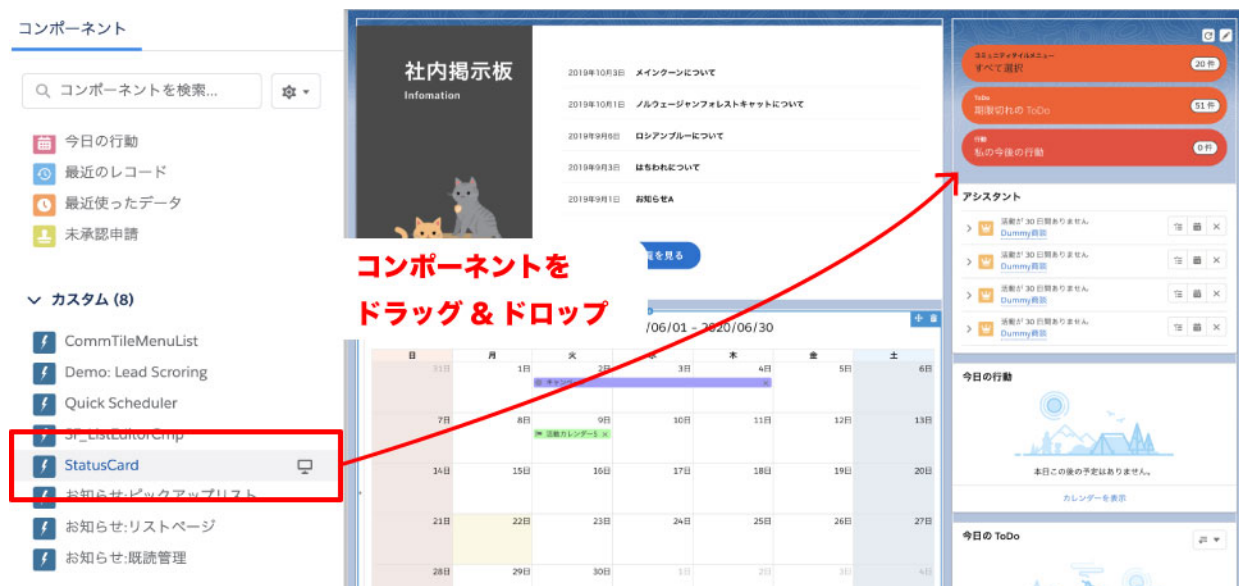
コンポーネントの設置方法

本コンポーネントはLightningページ内、Utility Barに設置出来ます。

ホーム画面へのコンポーネントの配置イメージ(サンプルではHOMEのページ内とUtilityBar内に設置しています)



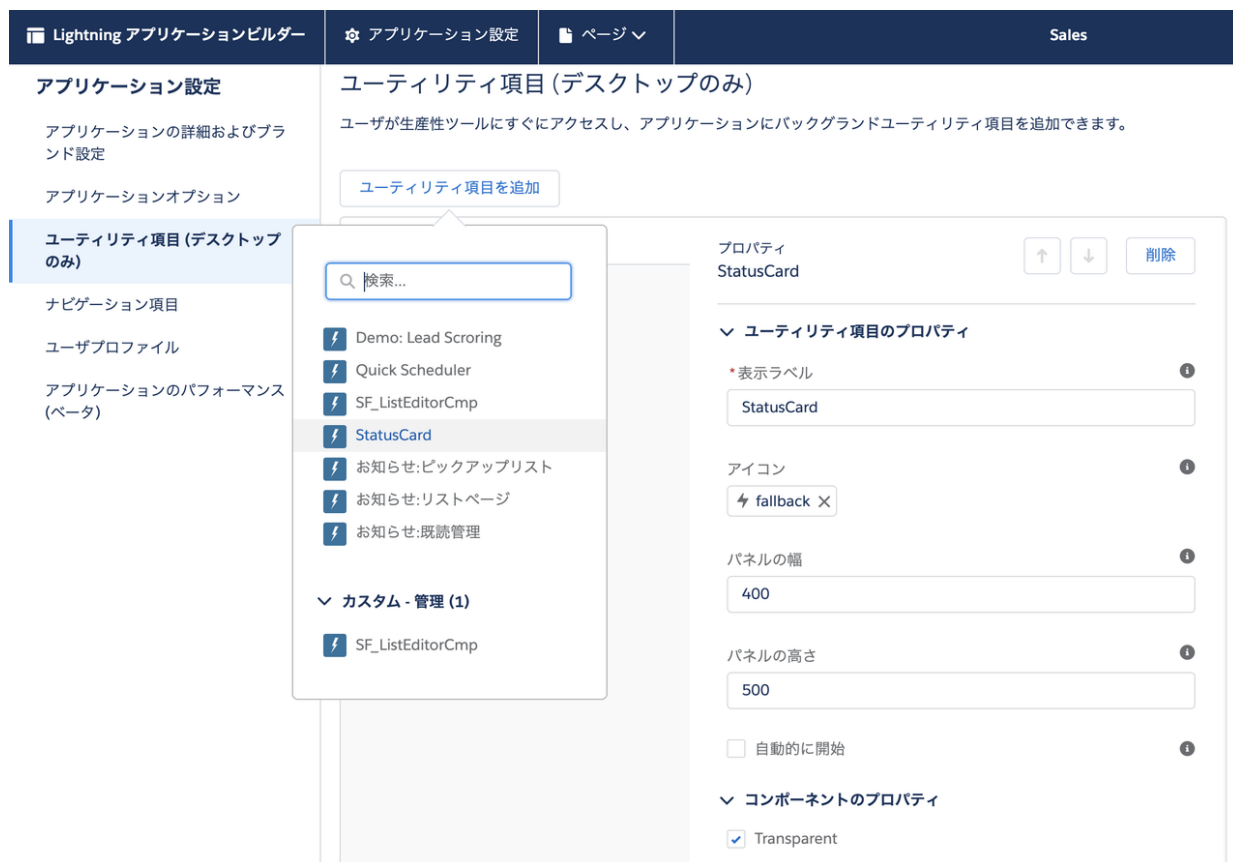
Lightningページへの設置



Utility Barへの設置

Salesforceの設定画面からアプリケーション>アプリケーションマネージャへ移動。
 設置したいLightningアプリケーションを選択して編集（もしくは作成）を行い、Lightningアプリケーションビルダーへ移動。
 アプリケーション設定のユーティリティ項目（デスクトップのみ）を選択。
 ユーティリティを追加ボタンを押して、StatusCardを追加する。

*** コンポーネントのエラー回避のため、自動的に開始のチェックは付けないようにする。**



コンポーネントの設定

ページ > StatusCard

Transparent

コンポーネント背景の透過設定

☐ Transparent

コンポーネント画面構成

オブジェクト名

設定画面で選択したフィルターのオブジェクトのラベルが表示されます。

フィルター名

View画面



設定画面で選択したフィルターのラベルが表示されます。

パネル

1オブジェクト・1フィルターの構成で表示されています。
Edit画面で設定した条件に応じて背景色が変化します。
パネルはリンクになっており、クリックすると設定したオブジェクトのフィルターへページ遷移します。

レコード件数

取得したレコードの件数が表示されます。
読み込みは非同期で行われるため、読み込み中は“Loading...”、ユーザーがアクセス出来ない場合は“Access Error”と表示されます。

更新ボタン

コンポーネントを更新して、最新の情報を取得します。

画面切替ボタン

View画面<>Edit画面を切り替えます。

Edit画面



オブジェクト+フィルター選択

ドロップダウンで選択します。
表示形式は「オブジェクト名 - フィルター名」となります。
組織内の全てのリストが表示されるため、アクセス出来ないオブジェクトなども指定できるので注意してください。

単位

レコード件数の単位です。

テキストカラー

オブジェクト名とフィルター名のテキストからの設定で、白と黒の切り替えが出来ます。
設定はパネル単位で、条件の変更には影響を受けません。

条件編集ボタン

パネルの背景色の変化を設定する画面を開きます。

パネル削除

パネルを削除します。

パネル追加

新規のパネルを追加します。

条件設定パネル

Condition 1 - 3

レコードの件数に応じたパネルの背景色を設定。(*)

カラーの設定ボタンはブラウザ依存となり、Chrome/Safariで異なります。

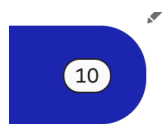
* Conditionのカラーチップをクリックすると、カラー設定のボックスが立ち上がります。

Fallback

条件にあてはまらない場合に表示されるデフォルトカラー。

条件設定仕様

閾値はデフォルトのカラーの設定と条件に基づく複数設定が可能であり、閾値の評価はレコード件数により決定されます。



例えば、以下の2セットの閾値の設定がある場合

デフォルト：背景色[#000000],テキストカラー[#ffffff]

条件1：閾値[3以下]で背景色[#ff0000],テキストカラー[#ffffff]

条件2：閾値[7以上]で背景色[#00ff00],テキストカラー[#ffffff]

レコード件数が1件の場合は“条件1”が適応され背景色[#ff0000]・テキストカラー[#ffffff]となります。

レコード件数が5件の場合は“デフォルト”が適応され背景色[#000000]・テキストカラー[#ffffff]となります。

レコード件数が8件の場合は“条件2”が適応され背景色[#00ff00]・テキストカラー[#ffffff]となります。

例えば、以下の3セットの閾値の設定がある場合

デフォルト：背景色[#000000],テキストカラー[#ffffff]

条件1：閾値[3以下]で背景色[#ff0000],テキストカラー[#ffffff]

条件2：閾値[5以下]で背景色[#00ff00],テキストカラー[#ffffff]

条件3：閾値[8以下]で背景色[#0000ff],テキストカラー[#ffffff]

レコード件数が1件の場合は“条件1”が適応され背景色[#ff0000]・テキストカラー[#ffffff]となります。

レコード件数が4件の場合は“条件2”が適応されます。

レコード件数が7件の場合は“条件3”が適応され背景色[#0000ff]・テキストカラー[#ffffff]となります。

レコード件数が10件の場合は“デフォルト”が適応され背景色[#000000]・テキストカラー[#ffffff]となります。

コンポーネントの文言設定（多言語対応）

コンポーネント内で表示される文言はカスタム表示ラベルから設定できます。

カテゴリは「**StatusCard**」で設定されており、マスター文言の変更でも対応となります。

※Lightning Applicationページで設定するコンポーネントの設定内で入力した文言は変更できません。

※システムエラーなど一部のシステム文言は変更できません。

以下ではトランスレーションワークベンチを使用した多言語対応を紹介します。

[参考]

HELP: <https://help.salesforce.com/articleView?id=sf.workbench.htm&type=5>

トランスレーションワークベンチを有効にする

- [設定>ユーザーインターフェース>トランスレーションワークベンチ>翻訳言語設定]に移動し、有効化されていない場合は有効化します。
- 有効化後、使用言語の追加ボタンを押下し言語を追加します。
- 翻訳者を設定して保存します。

翻訳を設定する

- [設定>ユーザーインターフェース>カスタム表示ラベル]へ移動します。
- 翻訳を設定したいラベル名を押下して詳細ページへ移動します。
- ローカル翻訳/上書き項目の「新規ローカル翻訳/上書き」を押下し新規で作成するか、編集したい言語を開きます。
- 言語を選択し、翻訳言語に表示したいテキストを入力し保存します。

その他

コンポーネントの更新タイミングについて

本コンポーネントは、更新ボタンを押す以外でコンポーネントの初期化が行われるタイミングがあります。

- ・コンポーネントが初回で読み込まれた場合。(*)
- ・コンポーネントの編集画面で編集を行い、view画面へ切り替えた場合。

* Utility barのアイテムを別windowで表示していて、最小化を行いUtility barに戻したタイミングも含まれます。

更新ボタン以外でコンポーネントの更新が行われると、更新を行ったページ内に含まれるStatus Cardコンポーネントがすべて同期して更新されます。

パネルの編集について

パネルの追加を行ったことがないユーザーは、初回表示時に編集画面で表示されます。

パネル追加して保存すると、コンポーネントの最初のパネルは削除出来なくなります。

ユーザ毎の設定情報について

PKGに含まれているStatusCard__cのカスタムオブジェクトにユーザ毎に1レコードずつ格納されます。

コンポーネント使用条件

- ・組織のEditionはEE以上は必要
- ・リスト/オブジェクトへのアクセス権が必要
- ・プロファイル（権限セット）などで、ユーザーのシステム権限で「APIの有効化」

注意事項

- ・コンポーネントでカウント（取得）できる件数は2000件までとなります。